

CITY THEATRICAL

NEW YORK • LONDON

ワイヤレスDMX受送信付き小型ディマーユニット QolorFLEX 5x2.5A Multiverse Dimmer

P/N 5943

クイックスタートガイド

2019/3/14

ステータス・ライト

- グリーンに点灯時：有線接続で安定して DMX 信号を受信しています。
- ブルーに点灯時：無線接続で安定して DMX 信号を受信しています。
- グリーンまたはブルーの点滅の場合：DMX 信号を受信していません。



エラー表示

赤く点滅し、点滅回数によってエラーの内容がわかります。

- 1回：回路のショート
- 2回：出力容量のオーバー（最大4A以下）
- 3回：入力容量のオーバー（最大12.5A以下）
- 4回：出力ポートのオーバーヒート
- 5回：低電流
- 6回：過電流



マルチパス製品は米国特許#7,432,803,B2, #10,129,964 B1をはじめ
その他特許権に保護されています。設計・製造はアメリカ合衆国です。

[ご紹介](#)

[ターミネーション・スイッチの設定](#)

[出荷時の初期設定](#)

[DMXタブ](#)

[Dimmer/調光タブ](#)

[設定](#)

[DMXタブ](#)

[Dimmer/調光タブ](#)

[DMXやシステムの割り当てについて](#)

[RDM機能を使用し無線による接続を行う場合:](#)

[DMXタブ](#)

[Dimmer/調光タブ](#)

[マルチバース・タブ](#)

[エラー表示](#)

ご紹介

Qolor FLEX 5x2.5A 2.4GHz マルチバースDimmerは、5v～30vの直流電流に対応した無線制御による調光機器です。入力電流は出力ポートの接続された灯体の必要条件を満たした電流をご使用ください。

お客様の電源供給機器の直流+、-の両極を、本製品の入力ターミナルポート(本体のPWR +、-の両極に接続してください。

灯体側の+極を、本製品の出力ポートの+側、灯体側の-極を本製品の出力ポートのA,B,C,D,E側にそれぞれ接続してください。



注意 ターミナル・コネクタ自体、有線接続しやすいよう取り外しができるようになっています。本体に接続し直す前に、有線接続が正しく接続されているか、また灯体側にも正しく接続されているかをお確かめください。本体にあるA,B,C,D,E各所のバンプ・ボタンにより、正しくDMX接続されているかをテストすることができます。

ターミネーション・スイッチの設定

- ON-FOR ALL WIRELESS USE:ターミネーション機能有効

- OFF: その他のDMX機器や有線接続された調光機器もDMXスルー接続されている場合にはOFFにしてください。
- ON WIRED: 本製品がそのDMXスルー接続における末端の機器である場合に選択してください。



設定時の重要事項！

本製品は出荷時の初期設定として、“有線”モードになっており、RDMを使用した際もこのモードからのスタートとなります。その為、ステータス・ライトがグリーンに点灯しますが、無線モードではブルー、接続が確認されない場合は、赤に点灯します。(赤の点滅回数によりエラー内容がわかります。マニュアルの最後に記載しています。) 有線モードに戻る場合は、**全ての設定**を出荷時と同様の「初期設定」に戻す必要があります。その場合は、AとEのランプ・ボタンを5秒間同時に押しいただき、STATUSとSIGNAL QUALITYライトが点滅したことを確信してください。

各種設定を変えずに無線モードにする場合は、BとDのランプ・ボタンを5秒間同時に押しいただき、STATUSとSIGNAL QUALITYライトが点滅したことを確信してください。

出荷時の初期設定

DMXタブ

- RDM Traffic Enable (RDM機能:有効)
- DMX Port Label; Label (DMXラベル機能:ラベル)ユニバース 1
- DMXアドレス 1
- DMX Personality 8ビット(5チャンネル)

Dimmer/調光タブ

- Mump Buttons Enable (ランプ・ボタン:有効)
- Apply to All:No
- Device Label: Default Dim 1 Label (灯体ラベル:Dim 1)
- Curve Logarithmic (LED) 調光カーブ
- Output Response Time 100ms Ramp Time (出力反応速度 100ms)
- Modulation Frequency 5000Hz-LED (周波数変調 5000Hz)



注釈:

- DMX Fail Modelについて
Hold last look before changing to a level: Infinite
(値に変更がない限り、その前に受けた値を保持:無限値)
Hold level before blacking out: Infinite
(受信信号を失った場合、暗転せずに前に受けた値を保持:無限値)

設定

RDM機能を使用し有線による接続をする場合：

City Theatrical 社によるPN5950 / XLR5Pinオス口からコネクタの変換として、3つの端子による Phoenix コネクタ・オス口や、6”Phoenix コネクタ・メス口を使用していただけのだけでなく、お客様自身でコネクタを製造された場合でも、DMX CatをはじめとするRDM機器を使用することができ、「5943」として表示されます。

DMXタブ

- RDM機能の有効/無効を、灯体側や制御機器側で切り替えることができます。
- Set DMX Port Label: DMXポートのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Set Universe: ユニバースの設定 (DMXの送信機と5943の間で同一のユニバースナンバーを使用してください)
- Set DMX : DMXアドレスの設定 ・Set DMX Personality: DMX解像度 (8ビット/16ビット)

Dimmer/調光タブ

- パンプ・ボタンの有効/無効を設定できます。“Apply to All”を選択することで、5つのポート全てを調光機能に切り替えることができます。



注意: “Apply to All”はその他全ての設定変更をする前に設定してください。・Set Device label: 灯体へのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)

- Select Dimmer Curve: お好みの調光カーブに設定していただけます。
- Select Output Response Time : スムーズな調光を実現するために、信号に対し調光機能が反応する時間を調整することができます。
- Set Control Offset: 大変低い値でのフェードをする場合、各信号の値を調整する必要がある場合があります。例えばグリーン、ブルーの回路よりも赤の回路のみ速く点灯してしまう場合、グリーン、ブルーの回路に対し、最低値を0よりも少し上げて設定しておくことで、点灯し始めを綺麗に揃えることができます。

オフセットは-32,768、+32767の範囲で設定することができます。まずは全て100の値からスタートし、徐々に調整していくことをお勧めします。

DMXやシステムの割り当てについて

RDM機能を使用し無線による接続を行う場合：

City Theatrical 社によるPN5950 / XLR5Pinオス口からコネクタの変換として、3つの端子による Phoenix コネクタ・オス口や、6”Phoenix コネクタ・メス口を使用していただけのだけでなく、お客様自身でコネクタを製造された場合でも、DMX CatをはじめとするRDM機器を使用することができます。初期設定において

5943は有線モードになっていますので、グリーンのステータス・ライトが点灯します。RDM機器を使用し、5943を認識してください。

DMXタブ

- RDM機能の有効/無効を、灯体側や制御機器側で切り替えることができます。
- Set DMX Port Label: DMXポートのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Set Universe: ユニバースの設定 (DMXの送信機と5943の間で同一のユニバースナンバーを使用してください)
- Set DMX : DMXアドレスの設定 ・Set DMX Personality: DMX解像度 (8ビット/16ビット)

Dimmer/調光タブ

- バンプ・ボタンの有効/無効を設定できます。“Apply to All”を選択することで、5つのポート全てを調光機能に切り替えることができます。



注意: “Apply to All”はその他全ての設定変更をする前に設定してください。

- Set Device label: 灯体へのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Select Dimmer Curve: お好みの調光カーブに設定していただけます。
- Select Output Response Time : スムーズな調光を実現するために、信号に対し調光機能が反応する時間を調整することができます。
- Set Control Offset: 大変低い値でのフェードをする場合、各信号の値を調整する必要がある場合があります。例えば、グリーン、ブルーの回路よりも赤の回路のみ速く点灯してしまう場合、グリーン、ブルーの回路に対し、最低値を0よりも少し上げて設定しておくことで、点灯し始めを綺麗に揃えることができます。オフセットは-32,768、+32767の範囲で設定することができます。まずは全て100の値からスタートし、徐々に調整していくことをお勧めします。

マルチバース・タブ

(DMX inputモード設定は各種設定後に行います。)

- Select SHoW ID (お客様がお使いの送信機と2.4HGzによるSHoW IDを一致させてください。)
- Select Antenna Setting: 初期設定であるOmniアンテナを使用しない場合、内蔵のアンテナ(Internal)や、Panel, Yagiを使用する場合は設定を行ってください。
- Select Output Power : 初期設定はMAXIになっておりますが、その他の値Low, Medium, Highを使用する場合は、設定を行ってください。
- Choose a SHoW Key: SHoW Key設定が必要な際に行ってください。



注意: ユニバースやSHoW ID、SHoW Keyは送信機と5943の間で一致するよう設定してください。

以上の設定後、初期設定である有線モードから無線モードに切り替えてください。切り替えた際、5943を制御できなくなりますが、これは本製品が無線制御対応になったからで、ステータス・ライトがブルーに点滅し、DMXを

無線受信していないことを表示します。お客様の送信機からDMXが無線送信され、本製品が受信を開始すると、ステータス・ライトのブルー点滅は終わり、ブルーに点灯します。

送信機とSHoW ID, SHoW Key, ユニバースなどが全て一致した段階で、本製品が機能しはじめます。



注意: RDMを使用して、無線機能を使用中の5943を認識する場合、送信機側でもRDM機能を有効にする必要があります。

本製品をはじめとする、**City Theatrical**社製の**USE**接続を使用した有線/無線機能を持つ機器を使用する場合:

City Theatrical社のウェブサイト内にあります5943のページから、City Theatrical社製USB Configuratorのダウンロードを行ってください。その後そのソフトウェアをお使いのパソコン(Mac/PC)にインストールしていただくことで、5943とお客様のパソコンをUSB-マイクロUSBで接続することができます。

USB Configuratorのプログラム内にあるシリアルポートタブからお客様が使用している機器のシリアルポートを選択してください。その後、RDM機器から行う操作(上記と同様)をパソコン上から行うことができます。

エラー表示

ステータスライトが赤く点滅し、点滅回数により、以下の症状を示します。

- 1回: 回路のショート
- 2回: 出力容量のオーバー(最大4A以下)
- 3回: 入力容量のオーバー(最大12.5A以下)
- 4回: 出力ポートのオーバーヒート
- 5回: 低電流
- 6回: 過電流